

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 王慈福祉会	代表者	理事長 胡谷 直	法人・ 事業所 の特徴	「こころゆたかに すこやかに」 王慈福祉会は、高齢者・障がい者・児童など、幅広い分野でのサービス提供を行っています。 十王堂おうじでは、各方面と連携し、いつまでもご利用者が笑顔あふれる一日を過ごして頂けるような支援や提案を行っています。
事業所名	十王堂おうじ	管理者	蓮岡 亮一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括 支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人	0人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所独自の特色とは何かを検討し、柔軟な対応が出来るように事業所の幅を広げる。</li> <li>ご家族や周辺状況を把握し、事業所だけではなく、幅広い資源を活用し、問題解決に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色を考えたが、現実的ではない考えに至った。</li> <li>ご利用者と一緒に散歩し自宅周辺状況を確認した。活用できる資源があったので活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内だけで済まらず、資源を活用できている事はいいと思った。</li> <li>独自の特色あればそれに合った利用者が来て、喜ばれるのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の特色は明るい挨拶が出来る事。これを継続し地域の皆様の力になれるような風通しのよい事業所になるよう努める</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に配慮した換気対策を検討・実施する。</li> <li>職員の検温の徹底、来訪者の検温などの継続など、感染対策を怠らないよう継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策を継続している事は認める点であり、これからもしっかりと感染対策を行い利用者の健康状態に注視していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で寒い中喚起をこまめに行う事で感染防止に努めている点は利用者の協力があったのもので素晴らしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者である利用者の方の感染リスクに十分配慮し、感染症対策を継続し行う</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所で地域に貢献出来る事は何か、新たに地域と関われる事は何かを検討、計画していく。</li> <li>出来ない事ばかりに目を向けるのではなく、現状出来る事に目を向ける視点を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でも考えている事ではあるが、子どもの人数も減少し、合併現象がおこっている。子ども会も会員少なく廃品回収位しか活動できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>極端に地域との関わりが減少しており、事業所が閉鎖的になってしまっているのは、仕方ない事だが残念に思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内だけでなく、コロナ禍でも可能な限り出来る地域との関わりを検討し、利用者の一日一日を大切にする。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人と家族の了承を得て、個人情報やプライバシーに配慮しながら地域との関係性を築いていく。</li> <li>地域イベントを支援センターに聞き情報を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画を作成中であり、地域情報を共有し、在宅の方が安心して暮らせるように日頃から備えておく。</li> <li>イベントはコロナで軒並み中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画を利用者毎にしていくには時間がかかると思うが、よい対応をしていると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画を継続させ、一つの成功例を職員や地域の方に共有しながら地域の役に立つ活動を行う</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・事業所だけで支えるのではなく、地域や他事業所の意見を聞きながら支援困難例や事例を挙げしっかり話し合い、事業所改善や見直しを図る。</p>	<p>・運営推進会議が軒並み中止だった事もあり、書面で済ませ口頭での意見をうかがう事ができなかった</p>	<p>・今年度は仕方ない事だが、来年度に向けて様々な方法を検討して欲しい</p>	<p>・運営推進会議が開催されれば、今までの反省を生かし、様々な事例を話し合っていく</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・外部研修等に参加する事で、新たな考え方や方法を学ぶ。また、参加出来なかった職員にも介護等で共有し、非常時に落ち着いて行動出来るよう努める。</p>	<p>・どのような災害を見込んで対策していくのか、避難訓練は年2回以上行っており、利用者を巻き込んで行っている</p>	<p>・小規模多機能型居宅介護は利用者がよく変更していると聞いたので、こまめに訓練をやっていく必要がある</p>	<p>・全職員が参加出来て対応できるような避難訓練を行い非常時に落ち着いて行動できるように備える</p>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 21日 ( 17:30~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	2人	0人	11人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"><li>・送迎時にご家族に状況を聞くのは簡素な内容にし、具体的に聞きたい時はご家族の都合を聞いてから、話し合いの機会を設けるなどの配慮を行う。</li><li>・ご本人とご家族の意見の相違があった場合は、それぞれの思いや意見を理解し受け止め双方歩み寄れるような提案を行う。</li><li>・利用開始前にご本人に事業所の特色を伝え、柔軟な対応が出来る事を理解して頂く</li></ul>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"><li>・現場に入る前に申し送りを活用し、ご利用者の状態把握に努め迎え時その後の状態を聞くなど出来た。</li><li>・今年度は、本人と家族の意見の相違はなかった。</li><li>・見学时、事業所説明・特色を管理者がしっかりお伝えできている。</li></ul>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・書面・ケース・口頭等利用前に共有し、不安なく利用出来るように心がけている</li><li>・何を必要としているかはケアプランを確認している。</li><li>・本人だけでなく、家族等が相談できる環境作りを常に意識している。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模多機能型居宅介護とはどのようなサービスかの説明を具体的に全員が説明できない。</li><li>・しばらく休みだと内容把握に時間を要してしまった。</li><li>・どこまで踏み込んでよいのか迷う時がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模多機能型居宅介護とはどのようなサービスを提供するのか、統一して説明できるような書式や一文を作成する。</li><li>・書面把握だけでは難しいので、口頭で特に必要な説明を職員同士で共有していく。</li><li>・窓口は管理者として、家族からの報告や連絡を伝え、もれがないよう努める。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 21日 ( 17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	1人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・体調不良等で計画を実施出来なかった場合、代替案をご本人に提案し、話し合う機会を設ける。</li><li>・サービス提供の場面で、ご本人の要望を取り入れ、生き生きとした生活を送って頂く。</li><li>・情報共有は継続し、いつ利用しても同じサービスを提供できる環境を維持する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・介護保険サービスで出来る事出来ない事をご利用者に理解してもらおう事が難しかった。</li><li>・意思表示が難しいご利用者様に対し、望む暮らしに近づけるような声かけやレクリエーションの構成を職員が共有しながら提供できた</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	5	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	4	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングで発言する機会がなかった場合は申し送りを活用している。</li><li>・本人のゴールを確認しながらレクリエーションの提供や構成を考える事ができた。</li><li>・自主的にしたい事が選択できるようなレクリエーションの提供が行えた。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人のゴールがいつも同じではないかの議論になり、考えさせられた。</li><li>・かかわった内容を記録に残すのを忘れてしまった事があり、記録を一人が入力する事に限界を感じた。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・急な申し送り事項の共有を活用するツールを新たに開設したので、それに伴いメリットやデメリットを常に話し合う必要がある。</li><li>・本人のゴールを定期的に確認する必要がある、プランの変更時に担当を交え本人の意向をしっかりと聞き取り反映していく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 21日 ( 17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	0人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>うまく出来なかった事案をうやむやにせず、解決する為の案を出し成功例と失敗例を記録に残す。</li><li>安全に介護支援出来るよう既往歴を把握し、介助方法の見直しを図る。</li><li>楽しみである食事は、出来る限りご利用者の思いに寄り添い、嫌いな物は代替し提供する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>成功例と失敗例を記録に残す事で、ご利用者にはよい支援と考えられるが、職員側に対する配慮が欠けていたようだった。</li><li>介助方法の統一を図るために、本人と家族の了承を得て画像で共有できるように努めた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	3	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>皮膚状態が乾燥で悪化している場合は、看護職員に相談し、入浴回数の変更を家族に相談しご利用者の皮膚状態を改善する事ができた。</li><li>食事場面で口に自分でうまく運べないご利用者に対し、残存能力を生かした介助方法を行った。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>共有された本人の気持ちに変化した場面に遭遇した時に、うまく反応できなかった。</li><li>客観的な視点ではなく、主観的視点が優位だった事に気づいた場面があった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>本人の持っている力を十分生かし、出来る事へ視点を向け、出来ない事はどうすれば出来るようになるかのミーティングを定期的に行い、担当者やケアマネと議論を交わし先延ばしにしない。</li><li>生活環境に応じた支援が出来るように、在宅への意識を高める。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 21日 ( 17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	2人	11人

前回の改善計画

- ・変わりゆくご本人の気持ちに寄り添いながら地域との関係が切れないように支援する。
- ・ご本人と関わる中で小さな変化に気付けるよう訪問時や通い時にしっかり観察を行い共有する。
- ・ご本人の周辺環境を把握し、新たな発見があれば追記するなどし、常に最新の情報を職員間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・個別避難計画を予定しており、例えば天災が起きた際地域との関わりの必要性について考える機会になった。
- ・訪問時いつも同じ話題ではなく、違う話題の提供や何気なく病院受診の際の通院方法や買い物状況が以前と変わってないか確認して変化に気づくよう心掛けたが、疑問に思うことはあったが、本当にどうか確認はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	5	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	4	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	4	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	7	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域との関係性が切れないように、一緒に回覧板を隣に届け、井戸端会議をしていたなどの情報を本人に伝えるなどした。
- ・家族受診を基本とし、遠方でも可能な限り家族に受診してもらう事で関わりを持ってもらうようお願いした。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人と家族との関係性が悪い方の場合、どうしたらいいのか悩む場面があった。
- ・直接接していない時間帯のすべてを把握するのは困難だった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・事業所周辺だけを散歩するのではなく、自宅付近を本人と散歩するなどし、地域との関係性が切れないような支援方法を考える。
- ・自宅周辺の民生委員の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 22日 ( 17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	3人	0人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族と関係を継続していく為に、家族の負担にならないように話し合いながら、連携していく。</li> <li>状態変化を見落とさず、通いを訪問に切り替えるなど柔軟な対応を行う。その時だけでなくレンタル・環境など安全に生活する上で必要な事柄についても提案する。</li> <li>ご本人に必要な地域資源を行政のホームページや広報など確認し、提案する</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族との関係を継続していく為、話し合いながら連携した結果、要介護度が低い事から特養入所申し込み出来ない、在宅に限界を感じているが金銭的に有料老人ホーム等へ入所する余裕はないとの事だが悩みを解決するまでには至らなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	7	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	2	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	10	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	1	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問しか出来なかった利用者の気持ちが、毎回声かけしたり広報を見てもらったりして通いに行ってみようかに傾いた。</li> <li>本人の状態に合わせ柔軟な対応が出来ていると自信を持っている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナによる地域活動の制限がありうまくかわる事が出来なかった。</li> <li>コロナで欠勤した際、対応が変わっていた事にうまく反応できなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>初心に戻り地域資源には何があるのか、資源を活用するにはどのような手段や方法があるのかを見極めること。</li> <li>本人の気持ちに寄り添うことも必要だが、毎日の通い希望が逆に在宅生活を遠ざける事もある事を検討すること。常に再アセスメントを行い内容の検討を行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 22日 ( 17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	4人	0人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・広報紙を作成し、定期的に医療機関やサービス事業所を訪れる関係作りから始める。</li><li>・地域のイベントは何があるか回覧板を通して確認し、参加出来るか問い合わせ、可能なイベントには参加していく。</li><li>・まずは職員の子どもや家族などから事業所に来てもらい、感想や意見をもらい訪れやすい事業所になれるよう改善する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・広報チームを3名で構成し、手探りで広報紙を作成した所、利用者家族や本人、医療機関に好評でチームでもやりがいを感じたので、頻繁に活動している。</li><li>・地域イベントに参加する事で交流できており、職員の子どもがよく訪れるが、地域の子どもが訪れる関係性にはなれなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	7	1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	4	7	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	9	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	7	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣のご利用者が登録した事によって、近所の方が度々事業所を訪れるようになって交流できている。近隣の方が利用したい意向があり、申し込みを書いていただいた。</li><li>・イベントに参加する事によって、とても喜んだご利用者の姿がみられた。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナにより地域での会議の出席は控えさせてもらった。</li><li>・登録者以外の方の事業所訪問が一部の方に限られたものだった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベントを計画したり、他者との交流の機会は何があるか、どのようなリスクがあるかなど検討し、自分たちだけで支援しようとせず、地域の中心となって活動できるよう計画を行う。</li><li>・自治会会議にどのように参加できるのか、誰を通せばよいのか地域密着型特養と協力して検討する。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 22日 ( 17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	3人	4人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見や苦情が出る前に、まずは職員が日頃の生活態度を見直し、地域の方に安心してもらえるような事業所を目指す。</li> <li>ご利用者、ご家族だけでなく、事業所の地域、ご本人が住んでいる地域の方の意見聞くことが出来る体制を作る。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>処遇委員会で所作について話し合い、日頃から研修を行い意見交換を会議で行っている。まずは、職員駐車場から事業所までの道のりの際に挨拶はもちろんの事、日常会話が出来ようになった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	7	3	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	2	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	7	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の形態を聞かれた際どのように説明できるか、統一した方がいいとのアイデアから文言を考えるようになった。</li> <li>苦情をすぐに解決できるようミニ会議を行うようになった。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に必要とされる拠点とまではなっていない。同一敷地内に特養があるので避難所は主にそちらの方になっている。</li> <li>ミニ会議を行ったあと、同じ事を繰り返さないかの検証には至っていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情や意見はツールを使用してすぐに共有できるように行う。少人数でも会議を行い、積極的にすぐに共有できるようにする。</li> <li>次回までに事業所形態をみんなが言えるよう統一した文言を決めておく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 22日 ( 17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	0人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ姿勢はなぜ必要なのかを一部職員だけでなくチーム全体で考え、短時間の研修機会を作るなど、継続的に学ぶ場を作る。</li> <li>・研修に参加した職員は、会議の場を利用するなど全職員に伝え、事業所全体の質を高める。</li> <li>・委員会活動を有効に活用し、各委員会でも求められる事やテーマを掲げ検討し、解決に導く。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助方法に迷った時は10年以上のベテラン職員に相談し、このような方法もあると提案を受けそれを基に検討した。</li> <li>・研修に参加した職員は口頭ではなく書面で共有したため、質を高められたかどうかは疑問が残る結果となった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	2	0	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	1	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	10	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格を所得する職員がいるおかげで、周囲もやる気になっていい効果が得られている。</li> <li>・研修内容を会議の場で発表することができており、全体的にいい効果が得られている。</li> <li>・ヒヤリハットを活用する事で、リスクマネジメントを心掛けている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格やスキルアップに取り組む職員が一部に偏っている。</li> <li>・共有方法を具体的に検討し、限られた時間内で確認できるようにしたい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のために、自分のためにスキルアップし、いいと思える事は積極的に発言し、また、発言できるような環境を管理者中心に考え事業所全体の質の向上を目指す。</li> <li>・動画で研修を行うスタイルを主流としており、介護技術に迷ったときは様々な方向から検討しアプローチする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 3月 22日 ( 17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 蓮岡・高田・瀧本・太西・中瀬・谷口  
古市・山本・堀・池畑・濱田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	0人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>虐待や身体拘束に繋がる不適切ケアを減少させるため、職員間で不明な点は言い合える環境を作る。</li><li>職員の考えや業務を優先せずご利用者の気持ちを理解し、行動における「なぜ」を第一に考えることで、ご利用者の思いに沿ったサービス提供を行う。</li><li>個人名が書かれている書類等は使用後すぐに見えないように管理できる場所に戻す。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>不適切事例を書面にし、掲示しどのような事から虐待につながる事案になるか話し合った結果、まずは言葉遣いから見直すようになった。</li><li>ご利用者の思いはずっとここにいたい意向であるが、小規模多機能型居宅介護なので在宅に向けた支援である事の理解を得るのにいまだ達していない状況である。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	1	0	0	11
②	虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	2	9	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	8	0	0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	6	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>身体拘束にあたる事を職員が理解できている。また、不適切ケアを言い合える関係性である。</li><li>ご利用者が休みの時に、その方の名前を言わないように、離れた場所で名前を出すなどの配慮をしている。</li><li>パソコンやiPadにはロックをかけている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>個人名が書かれたケースは棚の中に保管し目に触れないようにしているが、たまに開けっ放しになっている時がある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>個人名が入っている棚は開けっ放しにせず、閉めて個人情報管理の認識を徹底する。</li><li>新人の方が職務する前に個人情報管理や研修をしっかりと行うよう徹底する。</li><li>ご利用者の事について話すときは個室で話すなど、配慮を心掛ける。</li></ul>